



# ようぼく一斉活動日 隅々まで声を掛けよう

5月大教会教会長会議  
立教187年5月22日  
大教会長 片山幹太

# 本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268  
**天理教本島大教会**  
電話 0877-27-3321 (代)  
本島通信編集室 R240525-0528-15  
奈良県天理市指柳町270-1  
本島詰所 〒632-0093  
電話 0743-63-1571 (呼)  
<https://www.honjima.com>  
Email: webmaster@honjima.com  
大教会 朝夕おつとめ時間  
【6月1日～8月31日】  
朝づとめ 午前6時00分  
夕づとめ 午後7時00分

まず、おさづけの理拝戴を願うことについて、5月より少し変更になりましたので、お知らせします。これまでは内統領室より大教会長に、何月何日何名とご案内を頂き、詰所主任より該当者のいる教会長へ直接連絡して、お運びできるかどうか確認を取っておりました。現在、詰所主任が把握している満席者リストは18教会31名いらっしゃいます。これからは大教会ごと何名という枠がなくなり、お運び日の1週間から10日ほど前に、大教会長宛に一斉メールで日ごとの通知を頂いてから、願うことになりました。一日のお運びでおさづけの理を拝戴できる人数は決まっておりますので、例えば週末や月次祭前後など、希望者が多い日は早めに定員が埋まってしまうことが想定されます。そこで該当者(別席を満席または8席まで運んでいる方)のおられる教会長様には、今一度本人に、いつ

ごろ運べるのか、またはどのような日取りが運びやすいのか確認をとり、詰所主任へお知らせ頂けたら、速やかに通知ができると思います。(たとえば、今年の秋頃、何月頃、土曜日や日曜日、何月何日指定など)。5月は平均して一週間に3日間ほどお運び日がありました。あらかじめ希望日を知っていると対応しやすいので、ご協力をお願いします。また、お運び日が分かり次第、希望者へ一斉に通知するシステムも検討中です。まずは教会長の皆さまには、おさづけの理を運ぶ該当者とのつながりを密にとつて頂けるようご丹精をお願いいたします。

さて、来月(6月)になりましたら、三年千日の年祭活動は折り返しになります。そこで年祭活動についても一度確認して心に納めさせて頂きたいことがあります。私としては、年祭活動は「世界たすけの歩み」と「心の成人の歩み」を強く意識して勤めさせて頂いております。特に「心の成人」とは、「を、やの思いに近づく歩み」ということです。そして、具体的に各教会が目標を立て、さらによろよく一人ひとりが心定めて実行するという年祭活動です。心定めには三つのポイントがあります。「日々をいがけ」「積極的なおたすけ」「おちばの理を戴く」です。ただいまは年祭活動の第2年目、6月までに全教会巡教を行い、この点を周知していくことになっていきます。特に今回の年祭活動は直前までコロナ禍があり、日常生活において様々な制限があり、ご本部や教会の行事についても実行できないことが数年間続きました。そのことよって、よろよくとしての歩みが止まってしまっている方、長い休憩から動き出せなくなっている方も依然としてたくさんいらっしゃるように見受けられます。もちろん年祭活動が始まり、積極的に歩み出しているよろよくの皆さまも大勢いらっしゃいます。このたび「よろよく一斉活動日」が5回実施されるねらいは、全教が揃って年祭活動の歩みを進めましょう、という思いがあります。どうか教会につながるよろよくの皆さま隅々まで声をかけて、心定めを実行できる年祭活動にさせて頂きましょう。(文責・本島通信編集室)

# 子供に信仰の喜びが映るよう 喜び勇んで勤めよう

大教会准役員

伊東康成

只今は五月晴れのもと月次祭を、大教会長様を芯に一手一つに陽気に勇んで勤めさせて頂き、誠にありがとうございます。

御命を頂きましたので、祭典講話を勤めさせて頂きます。

教祖140年祭に向かう三年千日の第2年目も早5ヶ月が過ぎようとしております。



皆様方には諭達第四号を指針に、日々を勇んでお通り下さっていることと存じます。

諭達第四号には

教祖お一人から始まったこの道を、先人はひながたを心の頼りとして懸命に通じ、私たちへとつないで下さった。その信仰を受け継ぎ、親から子、子から孫へと引き継いでいく一歩一歩の積み重ねが、末代へと続く道となるのである。

とお示し下さっています。

そこで私自身の幼少時代はどうだったのか振り返ってみました。

私は小学4年生のとき、親に言われるまま初めて本島鼓笛隊の合宿に参加しました。

本島大教会まで悪路をバスに揺られること7〜8時間、車に酔いやす

い私にとっては地獄のようでした。

そして合宿では、起床ラップで目を覚まし、朝づとめ、鼓笛練習、夕づとめ、点呼と消灯との規則正しい毎日ですので、初めは心細く早く家へ帰りたい思い一心でした。

それでも慣れてくると、様々な地域から参加している友達ができきて嬉しく思いました。

先日、一枚の写真が出てきました。それは本島鼓笛隊第1回総会の写真です。本島通信第276号(昭和41

年8月10日)には「本島大教会少年会

鼓笛隊こどもおちば帰り参加と第一

回総会開催」との見出しに、「去る八

月二日から五日にかけて本島大教会

少年会鼓笛隊八十五名は、こどもお

ちばがえりに参加した。念願のユニ

フォームも出来上がり、その姿勢は、

鼓笛隊を見なれているおちばの人達

をして、そのスマートさに目を見は

らせる程、演奏、規律共に、今年の

こどもおちば帰りに参加した鼓笛隊

のトップクラスとの折紙をつけられ

る成果を治めた。」と記事は書き始ま

り、最後に「更に育成会終了後の十

日午後より、第一回の本島大教会少

年会鼓笛隊総会を開催した」と締め

くくられています。

この時の懐かしい写真を見て、総

会の内容は覚えていませんが、会食があり自分の教会では食べたことのないような料理がテーブルに並んでいたことは覚えています。厳しく長かった合宿を忘れさせてくれるような楽しい会食でありました。

以前、ある先生から「人を育てるにも強弱が大切だ」と聞いたことがあります。厳しい鼓笛合宿を強とすると、夏の育成会が弱であるとも言えると思います。

子供時代にとって夏の本島の楽しみは何と言っても海で泳ぐことでした。海濱行事では、運動会をしたり、潮干狩りをしたり、あるときには船から突然海賊が現れたり、サプライズがたくさんありました。神殿前のキャンプファイヤーなど、思い出は尽きませんが、家では味わえない夢のある楽しい体験をたくさんさせて頂きました。

これらの行事を企画し実行してくださったのが、鼓笛隊総長の片山昇4代会長様と、そこに集う大勢のひのきしんの方々であります。

教祖のお言葉に、

「この家へやって来る者に、喜ばさずには一人もかえされん。親の

たあには、世界中の人間は皆子供である。」

とありますが、その通り厳しさの中にも夢を与えて下さり、喜びや楽しみで私たちをお導きお育てくださいました。

おさしづに、

「をや、という、子供という、子供十分さしてをやが楽しむ。子が成人してをやが大切、楽しみと楽しみと、という。」(明治28年11月14日)

とあります。意味は「子供の成人が親の喜びであり、子供に十分のことをしてやるのが親の楽しみである。子供は又成人して親を大切に思う。これほどの楽しみはない。これは親神様のお心であり、同時にまた真の親子の情でなければなりません。(参考文献・「真実の道」道友社編)

また、「育てるで育つ、育てにや育たん。肥えを置けば肥えが効く。古き新しきは言わん。真実あれば一つの理がある。」(明治21年9月24日)

また、「育てば育つ、育ては誠、誠は修理、修理は肥やし。」(明治23年6月24日)

とあります。

一人の信者を育てる理の親の丹精

というものは並大抵なものではありません。子供が成人して理の子供を与えていただくようになって、ようやくこの理の親のご恩が分かってくるのであります。そして「親が大切」とのご恩報じの道も歩めるのであります。

本島大教会の後継者育成には、「鼓笛隊」と「夏のつどい」という少年会活動の実績があります。時代や環境が変わっても、親の思いは受け継がれていくと信じております。

さて、今年も昨年に引き続き夏の子どもおちばがえりが開催されます。昨年は私も少年会本備前隊も4年ぶりの子どもおちばがえりに参加させて頂き、親の句の声を素直に受けることの素晴らしさを実感いたしました。

その4年前の子どもおちばがえりのときに小学2年生だった子が6年生になっており、声をかけたところ友達を誘って行きたいとのこと、初めての男の子6人がおちばがえりをしてくれました。

子供たちは元気何の問題もないのですが、世話取りする私が4年の歳を重ねておりますので、なかなか子供たちについて行けず世話取りも

ままなりませんでした。それでも親神様・教祖にお願いしてお連れ通り頂き、最後まで無事に教会まで戻らせて頂いた次第です。

今年も頑張つて声を掛け、一人でも喜ぶ子供の顔が見られるよう勇んで勤めさせて頂きたいと思っております。

最後に天理教少年会の「育成の手引き」における真柱様のお言葉をご紹介させて頂きます。

「親自身が教会へ足を運ぶことを通して、暮らしの中で神様に心をつなぐことの大切さを身をもって示し、やがては子ども達が、おつとめをはじめとする教会の諸活動に参加できるように育てて頂きたいのであります。それが何よりも子供自身が心の拠り所を持ち、ご守護にも恵まれて、よき人生を歩むことができる元であり、家内が治まり、ひいては世界だすけの御用の一端を担うことにも続いていくのであります。」

子供達の心に信仰の喜びが素直に映るように、私自身何事に対しても喜び勇んで勤めさせて頂きたいと思えます。

ご清聴ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)

計報

大隅聖峰分教会長

宮路茂照氏



前9時1分お出直しになりました。享年82歳。

葬儀はみたまうつしを5月28日午後6時より、告別式を翌29日午前11時より、鹿児島県鹿屋市内の葬祭場において宮路和徳・霊峰分教会長斎主のもと執り行われました。みたまうつしに大教会長が参列しました。

宮路茂照氏略歴 昭和17年12月2

日生まれ。昭和40年6月21日、おさづけの理拝戴。同年6月28日、修養科第28期修了。昭和42年4月15日、教会長資格検定合格。同年6月9日、教人登録。立教158年2月26日、大隅聖峰分教会初代会長拜命。同年3月16・17日、大隅聖峰分教会会長就任移転改称鎮座奉告祭。同年11月22日、大教会神殿奉仕人。教会長在職期間29年3ヶ月間。



### 宮森先生おてなoshi

大教会世話人・宮森与一郎先生による「おてなoshi」が5月25日午後3時より約1時間、詰所4階講堂で行われ、54名が受講しました。

今回のテーマは足の運び方。宮森先生には一段高い雛壇に立って稽古を頂きました。

まず基本的な手振りのおさらい後、七下り目と八下り目の手振りを確認しました。

おてふりの大切な心構えとして「素直な心で踊る」「一手一つに踊る」「勇んで踊る」の三つについて、和やかな雰囲気でお手直しを下さいました。



### 各地の動き

#### 神峰分教会別席団参



神峰分教会(橋口徹会長、鹿兒島市)では、4月18日の教祖誕生祭に合わせて別席団参を実施。42名が帰参しました。

神峰分教会は教祖年祭に向かって心定めている神殿ふしんに先立ち、大教会成人目標「一人ひとりが心定めを行い、まずおちばへ一人お連れする」を掲げ、団参に取り組みました。このたびの団参で、初席4名、中席2名、おさづけの理拝戴1名がありました。

#### 本太分教会おちばがえり団参

本太分教会(佐藤道子会長、さいたま市浦和区)では、5月11日と12日におちばがえり団参を実施。10名が帰参しました。本部廻廊拭きひのきしんを行ったほか、別席1名、修養科生1名が合流しました。



### 大教会ツツジ剪定

大教会において毎年5月から6月に行っているツツジの剪定を、今年は5月22日の月次祭終了後から26日日没まで5日間かけて、栄峰分教会(大矢万三会長)有志ひのきしん者11名が行い、ひのきしんの汗を流しました。

大教会には表参道の斜面をはじめ、神殿前広場周辺、会議所前の庭などに数百本のツツジが植えられていて、毎年4月下旬から5月にかけて開花します。そして6月中旬から7月に花芽(成長して翌年



花になる芽)が付き始めるため、適切な剪定時期は5月から6月にかけての短い期間に限られるとされています。

ツツジ剪定は電動ヘッジトリマー(生垣バリカン)を使い、一本ずつ丁寧にやりました。特に表参道の斜面のツツジは、大雨による土砂崩れを予防するために植えられましたが、人間の背丈を超えるほど大きく成長し、かつ斜面のため足場が悪く、大変な労力となっています。ひのきしん者は協力しながら期間中事故なく、滞りなく作業が終了しました。来年初夏の開花が楽しみです。

#### 渋谷分教会おちばがえり団参

渋谷分教会(永島宗行会長、東京都渋谷区)では、5月26日におちばがえり団参を実施。教祖140年祭に向かっての実動を形に表そうと、28名が帰参しました。

月次祭参拝のほか、前日は日帰り温泉を利用し、帰参者同士の親睦を深めました。



## 事情はいづ

(立教187年5月26日)

## 神峰分教会

教会長 橋口 徹

## 神殿建築願

建築する建物

木造瓦葺一部ガルバリウム

銅板葺2階建

## 神殿教職舎

1棟  
床面積 1階 219・19㎡  
2階 200・28㎡

## 遷座祭日願

遷座祭 立教187年5月31日

## 臨時祭典願

鎮座祭 立教188年6月7日

奉告祭 立教188年6月8日

## 大松峰分教会

## 任命願

新任教会長 松下 尚一

## 臨時祭典願

就任奉告祭 立教187年6月9日

## 吉松峰分教会

## 任命願

新任教会長 吉野 正晃

## 臨時祭典願

就任奉告祭 立教187年7月4日

## おどじけの理拝戴

(立教187年4月分)

本 定 奥村善夫

神 峰 黒木のぞみ

吉松峰 古山智理

【計3名】

## 修養科第993期修了

(立教187年5月27日付)

雄福峰 北山成美

【計1名】

## をびや許し

(立教187年4月分)

本 恵 親泊ひとみ

大雄峰 森本夏枝

【計2名】

## ろくぢ会

(立教187年5月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・

香葉子・幹太郎・好次・昇太△片

山秀明△長尾真実・幸太 ▼本榊

△大上ほの香・はる香・太吉 ▼

本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼崇

徳分教会 ▼本高分教会 ▼ホー

ランド△片山和信・陽子・昇慶・

竜次  
ご芳志に厚くお礼申し上げます

## すき間の

## おはなし

## 謹写 おふでさき

教祖はお屋敷へお参りに来た

人々に、誰彼の別なく、『おふ

でさき』を読むよう促されました。

また、お屋敷へ通い、筆写

する人もいました。教祖伝では

明治16年、お屋敷へ突然巡査が

やって来たとき、入口の間で鴻

田忠三郎がおふでさきを書き写

していたという下りがあります。

また逸話篇では、四五『心の敏

を』の増井りん、一四七『本当の

たすかり』の山本与平妻いさな

ど、先人がおふでさきを書き写

す姿が幾度も登場します。

筆者が強く印象に残っている

のは、山澤良治郎宅跡(現在の

旭日部属・朝和分教会)で拝見

した、山澤良治郎直筆の「おふ

でさき第六号」の写本(明治12年

7月謹書)です。教祖時代の息

づかに触れたような感動を覚

え、いつかは自分自身で全17冊

からなる1711首を書き写し

てみたいと思っていました。

そんな中このたび道友社より

「謹写おふでさき(第一二号)」が

発行されました。見本紙、清書

用和紙、マス目入り下書き、手

引書などセットになっていて、

筆さえあればすぐに始められま

す。今後2ヶ月ごと11回に分け

て発行されることになっている

そうです。

話は変わりますが、京都市西

京区にある西芳寺は、通称苔寺

として特に外国人に人気の臨済

宗のお寺です。ステイプ・ジョ

ブスが生前頻繁に参拝に來られ

ていたことでも有名で、先日筆

者も初めて訪れてみました。

ここがとてもユニークで、ま

ず参拝するためには事前予約制

(往復ハガキかオンライン)とな

なっていて、冥加料(いわゆる

参拝御礼金)は4千円と他の寺

社に比べて高めです。そして決

められた予約時間に行くと、庭

ることが求められます。

写経は「延命十句観音経」とい

う全49字からなる短いお経で、

15分ほどで完成しました。

それから庭園に入ることが許

されるのですが、写経をする前

と後では、風景の見え方や感じ

方が変わってくることに気づき

ました。

まず自然の姿は日々刻々と移

り変わっていて、今見ている姿

と同じ姿になることはこの先二

度とないであろうという邂逅。

風景を楽しんでいるのは私た

ち人間だけでなく、木々を通り

抜ける風、さらさらと流れる

小川、気ままに遊ぶ鳥たちなど、

神仏のお働きに満ちていること。

そして数々の偉人がこれまで

私と同じように境内で過ごして

いたであろう足跡。

心を落ち着かせ、整えること

で、世界観が変わってくること

を体験しました。

このたびの「謹写おふでさき」

の実践を通して、きつとももの

の見え方や捉え方が変わり、不

安な気持ちや治め、親心の有難

さを悟り、心に落ち着きや明る

さが生まれることでしよう。

何より書き上げる達成感は、

年祭活動にあつて得難い経験に

なるのではないでしょうか。

(むかいじよ)



## こどもおぢばがえり

【教会本部】

### こどもおぢばがえり要項

- 期間：2024年7月27日～8月4日
  - 要項：インターネットで検索  
「こどもおぢばがえり オフィシャル」
  - 留意点：本年のこどもおぢばがえりは、インターネットでの申込となります。全教会に配布されている「申込キー」で、帰参人数とカレー食数の申込を行います。
  - 申込み期間：  
カレー食を申し込む場合：  
7月1日10:00～20日24:00  
カレー食を申し込まない場合：  
7月1日10:00～帰参日当日
- ※ 詳しくはオフィシャルサイトを十分にご確認ください。



本島大教会5月月次祭

委員 伊東孝之  
同 肥後 信  
同 岡崎八郎  
同 片山幹太郎  
同 大矢龍治  
同 奥村由多加  
以上

青年会本島分会(追加)  
(立教187年5月22日付)

## 大教会人事

## 大教会長動向

- ▼6月(予定)▲
- 2日、ようほく一斉活動日
  - 3日、香川教区役職員会議
  - 7日、教人資格講習会講師
  - 9日、大松峰分教会会長就任奉告祭
  - 15日、赤峰分教会巡教
  - 16日、那波分教会巡教
  - 22日、大教会月次祭執行
  - 24日、三代真柱中山善衛様10年祭参拝
  - 24日、修養科門出まなび
  - 25日、田植えひのきしん
  - 25日、かなめ会委員会
  - 26日、本部月次祭参拝
  - 27日、かなめ会
  - 27日、一れつ会評議委員会
  - 29日、片山□志50年祭
- (□は上部が竹、下部が中の外字)

## 大教会6月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：6月22日大教会6月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：  
メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：6月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。

## 布教部報告(5月分) 数字は本年の提出回数です

にをいがけ名簿提出教会 (5月)						おさづけ取次報告教会 (5月)					
本島	2	本米里	5	赤峰	5	本島	5	本平濱	4	本九台	4
樺太	5	本米浜	3	雅峰	5	樺太	5	本埼台	1	赤峰	5
本田中	3	本千代	5	吉峰	4	本田中	2	本攝	5	雅峰	5
本倉岡	4	本攝	5	豪峰	5	本倉岡	4	本淀	1	吉峰	3
本樺	5	本泉	3	倉峰	5	本樺	5	本津	3	豪峰	5
本室	3	本萩	5	大雄峰	3	本室	3	本吹田	4	倉峰	5
波谷	3	安藝本中	3	雄福峰	5	波谷	3	本泉	5	大雄峰	4
代々木	3	本備前	5	雄山峰	3	代々木	3	本太	5	雄福峰	5
本萬代	3	本迪	3	栄森峰	4	本萬代	3	本萩	5	雄山峰	5
本都	4	本府中	5	栄星峰	3	本都	3	安藝本中	4	栄森峰	3
本京	5	本浦	5	栄東峰	5	本京	5	本備前	5	栄星峰	1
本草	5	本清水	3	霊峰	4	本道	5	本迪	2	栄東峰	5
本三	3	崇徳	5	實峰	4	本草	5	本府中	4	霊峰	4
本恵	5	与島	4	大隅峰	4	本三	3	本浦	5	大隅峰	3
本恵明	5	本高	4	大松峰	4	本恵	5	本亀	4	大松峰	4
本静濱	4	本宣道	4	大駿峰	4	本恵明	5	本清水	4	大駿峰	5
本静森	3	本九	5	別峰	4	本静濱	4	本崇徳	5	別峰	4
本日米	5	本陽山	5	大英峰	5	本日米	5	与本島	4	吉松峰	4
本浜	3	本肥港	3	文峰	5	本浜	5	本勇	3	大英峰	5
本米	3	本新田	5	都峰	5	本米里	5	本高	5	肥後八峰	5
				仙峰	5	本米浜	5	本九	5	新信峰	4
						本千代	5	本陽山	5	鶴峰	5
						本千賀	5	本肥港	5	仙峰	5
								本新田	4		
合計	5	8	3	1	0	1	合計	5	8	3	1
計61教会 720名						計71教会 1,871回					

## 統計 (4月1日～30日)

教会名	初席	中席	要員	修養料	教人講習	検定講習
本千代		1				
本淀			1			
吉峰		1				
神峰	4	4	1			
霊峰		1				
大松峰						1
別峰		1				
吉松峰	1		1			
肥後八峰				1		
合計	5	8	3	1	0	1

# 大教会からの お知らせ

5月22日教会長会議連絡事項

## 三代真柱様 十年祭

【教会本部】

三代真柱 中山善衛様十年祭は来たる6月24日、教会本部において執行されます。

## 学生層育成者講習会

【本島学生担当委員会】

- 日時：6月22日(土)  
大教会祭典終了後神殿講話として
- 講師：飯降好助先生(本部学担委員)

## 教会長登殿参列

【登殿参列係】

- 6月26日月次祭登殿参列者(教会名)  
本幹・本大塚・本幸山・本清水・本京・本恵山・本日米・倉峰・本淀・撫川・本太・大雄峰・霊峰・本水島・本宣道・馬木尾(順不同)
- ※車椅子が必要な教会や登殿月の変更希望等は早めにお知らせ下さい。
- 登殿参列集合について  
詰所で教服を着用し、午前7時30分写真の間集合してください。諸説明後、バスにて出発します。
- ※教服の貸出はありませんので、各自でご用意ください
- 該当月に登殿参列が出来ない場合は、一覧を本島詰所に掲示しておりますので、各自で交代の話し合いを行い、決まった後は必ず登殿参列係へお知らせ下さい。
- 登殿参列係：平井真治郎役員

## みちのだいおはなし会

↓ 【婦人会本部】

- 日時：6月26日(水)午後1時～2時
- 会場：南右第二棟陽気ホール
- 講師：長谷幹男(天理高校副校長)
- ※どなたでも入場できます。託児はありません。

## レッツゴー青年会

【青年会本島分会】

- レッツゴー青年会 with 栗太分会
- 日程：7月6日(土)午前8時  
本島詰所集合出発  
7月7日(日)午後5時  
本島詰所到着予定解散
- 内容：草刈り、琵琶湖での害獣駆除

## 学生生徒修養会 高校の部

↓ 【天理教学生担当委員会】

- 期間：令和6年8月9日～8月13日
- 受講対象：高等学校に在学し、全期間受講できる者(親里管内については天理高校第I部の自宅通学生に限り受講可)
- 募集人員：900名(男女各450名)
- 内容：講話、グループワーク、レクリエーションなど
- 集合：8月9日正午(昼食を済ませてからご集合ください)詰所にて受付票を受け取り、受付票に記載されている宿舎に集合してください。
- 解散：8月13日午後2時頃(予定)
- 受講御供：10,000円
- 申込期間：5月25日～7月25日
- 申込方法：要項をダウンロードしてご確認ください。
- お問合せ先：  
雲庵春彦 090-2515-8039  
横関茂治 090-1138-1690

## おおうら 大裏地区田植えひのきしん

↓ 【伏せ込みひのきしん係】

- 三年千日おぢば伏せ込みひのきしん
- 内容：大裏地区田植えひのきしん
- 日時：6月25日(火)  
午前9時～ひのきしん終了まで
- 送迎：8時50分詰所玄関前より出発
- 場所：大裏地区(天理市豊田町)
- 服装：Tシャツ、短パン(海水パンツ)、サンダル、帽子  
※濡れても汚れてもよい服装
- 作業内容：苗の手植え等
- 参加対象：教会長夫婦および希望者
- 補足：ひのきしんは内容によって午前中のみになる場合もあります。食事(当日の昼食含む)、宿泊の予約は各自詰所へお申込みください。
- 担当者：岡崎八十則・永島宗行
- 参加申込みは、6月22日までお知らせ下さい。

## 鼓笛隊夏季合宿

【本島団鼓笛隊】

- 第112回本島団鼓笛隊夏季合宿
- 期間：7月26日(金)～7月31日(水)
- 会場：本島詰所
- ※7月30日、鼓笛御供演奏ならびに鼓笛オンパレードに出演します

## 少年会総会と夏のつどい

↓ 【少年会本島団】

- 立教187年天理教少年会本島団  
第34回少年会総会と夏のつどい
- 期間：8月20日(火) 16:00～  
21日(水) 21:00頃解散
- 受付：8月20日16:00より
- 参加御供：1000円
- 会場：本島大教会
- 対象：少年会員
- ※未就学の少年会員には引率者の付添をお願いします
- 内容：少年会総会(21日午前)おつとめ練習、ひのきしん、海浜行事、お楽しみ行事など
- 携行品：ハッピー(準備できる人だけで結構です)、着替え、帽子、タオル、水着、ビーチサンダル、日焼け対策、お風呂(洗面)道具、健康保険証
- その他：プログラム途中までの参加でも結構です。引率者の方で海水浴の監視が可能な方はお手伝いをお願いします

## 6月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

- 〈大教会・食堂ひのきしん〉
- 期間：6月21日～22日
- 派遣：本九

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：6月25日～26日
- 派遣教会：本篠、本龜

<https://www.honjima.com/>

↓ は、本島ドットコムより関連資料をダウンロードすることができます。トップページ>各種ダウンロード